

の方々も現在大学で学びながら本補習校で教えています。ほかの 24 名の方々も大学あるいは大学院を修了し、日本に帰国したり、米国に留まり働いています。

どの人も大学での学問に励み、補習校で教えることを楽しみ、安心して留学生活を送って頂いています。

授業料等が免除され給費が払われます

本プログラムでは授業料が免除され、給費・医療保険費が支払われます。

学士履修の場合（2021-2022 年見込み）。

USI が支払う項目	費用
授業料と課税対象外費用 学士コース単位年間最大 30 単位	\$ 19,622
給費	\$ 5,600
医療保険費	\$ 1,690
ユニバーシティサービス費	\$ 90
2020 年度合計年間見込み	\$ 27,002

修士履修の場合は、2 年間で修士学位を取得するのに必要な 1 年分の最大単位数分の 18 単位分 \$ 14,129 が免除され、上記の給費・ユニバーシティサービス料・医療保険費が支払われます。修士履修の上記合計年間実績額は \$ 21,509 です。

TOEFL の点数が入学基準点に満たない場合通常半年から 1 年間 IEP（集中英語講座）で学んでから学士や修士を履修します。その際 2022 年春学期 \$ 5,900 が免除され、2021 年秋学期分 \$ 5,900 はご本人の負担になります。集中英語講座履修の場合の上記合計年間実績額は \$ 13,220 です。

ご本人の負担額

学士・修士を履修される方の年間ご本人負担費用は以下の通りです。（2021-2022 年見込み）。

項目	費用
教科書教材費（個人により異なります）	\$ 1,200
諸費用（申請費、入学費等）	\$ 2,210
大学アパートの住居費（12 か月分。光熱費を含みます）	\$ 7,566
健康保険費	\$ 1,690
食費（12 ヶ月分 フルミールプランのとき。自炊の大学の見積もりは 12 ヶ月で \$ 2,700 です。）	\$ 6,704
税金（個人により異なります。）	
2020 年度合計年間見積り額	\$ 19,506 + 税金

IEP（集中英語講座）を履修する方の年間負担費用は、2021 年秋学期授業料 \$ 5,900 がご

本人の負担になるため、上記見積額は \$ 24,206 です。

なお、上記以外の日常の諸費用、日本から米国に来るための航空運賃、留学中に日本に一時帰国するときの航空運賃、旅行、TOEFL、ビザなど、ここに述べられていない全ての費用はご本人負担になります。

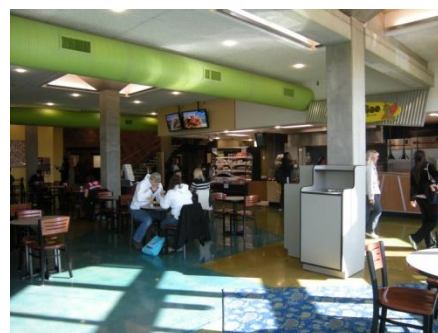
費用は通常留学の約 3 分の 1

本留学プログラムを通常留学と比べますと以下のようになります（「学士履修」の場合。）

	通常留学（\$）	本プログラム（\$）
授業料・諸費用	\$ 19,622	0
教科書代	\$ 1,200	\$ 1,200
諸費用（申請費、入学費等）	\$ 2,210	\$ 2,210
健康保険費	\$1,690	\$1,690
住居費	\$ 7,702	\$ 7,702
食費	\$ 6,704	\$ 6,704
給費	0	－ \$ 5,600
ユニバーシティサービス料	\$ 90	0
合計	\$ 39,218	\$ 13,906

上の表からおわかりのように、通常に留学したときのおよそ 3 分の 1 の学費ですみます。これは、留学生の皆さんに本校で年間 47 日間教えて頂く代わりに、学費が免除され、医療保険費を負担し、さらに給費を留学生の皆さんにお支払いしているからです。住居費は本プログラム留学生は大学職員とみなされ、職員アパート代が適用されます。上記食費は大学食堂でのフルミールプランの場合で、自炊の場合は経費削減ができます。

上記留学生費用のほかに、米国への渡航費用、日常生活費などその他の諸費用は留学生の方々の負担になります。



多彩な履修分野

米国留学の夢を持つ人にとっての魅力は、米国の大学でアメリカ人の学生とともに、自

ザのとき Academic Training ビザを申請でき、認められると OPT の場合 12 ヶ月間、AT の場合 18 ヶ月間延長して米国に滞在でき、自分の専攻に沿った職業に従事することができます。

本校で勤務された先生方の多くは卒業後日本に帰国されていますが、米国に留まって働いている先生もいます。

希望されれば、卒業後米国で働く機会の可能性があります。

快適な学生生活

大学のキャンパス内に学生や大学職員のためのアパートがあり、教室まで徒歩で行くことができます。アパートは、1戸を4人で共有するタイプと2人で使用するタイプがありますが、職員用は2人で使うタイプです。各寝室にはバスルームがあります。

食事は学食があり、そこでできますが、アパートにはキッチンと冷蔵庫があり、自分で料理をすることができます。

食材は簡単なものはアパートそばのコンビニで買うことができます。しかし、自炊をする学生は、大学から車で約5分のところにあるユニバーシティ・ショッピングセンターに行きます。ここにはウォールマートを初め各種の店舗群、レストラン、銀行、医院、ホテルがあり日常生活に必要な物品のほとんどを入手できます。

ウォールマートでは、日本のお米と同じカリフォルニア米や醤油、豆腐、枝豆、春巻き、カップラーメンなども購入できます。

このショッピングセンターには16のスクリーンを持つスタジアム形式のシネマコンプレックスもあります。

アパートや大学からはバスが週日出ていてエバンズビル市内のほとんどの場所に行くことができます。バス代はどこまででも学生は片道75セントです。

土曜はアパートからのバスはないので、朝は補習校が乗り合いタクシーを出しています。帰路は、土曜にバスが運休になるショッピングセンターからアパートの区間についてのみ本校がタクシーを出しています。



豊富な留学生のためのプログラム

大学では外国からの多くの留学生の世話や相談のためのインターナショナル・プログラムズ・アンド・サービスがあります。

ここでは文化交流理解のための楽しいイベントを催すほか、アメリカ人の友人を希望する留学生のために、外国文化に関心を持つアメリカ人の友人も探してくれます。2人で互いの言葉を学び、友人の輪が広がっていきます。

アメリカ人の家族と交流したい人のためには、ホストファミリーの世話もしてくれ、アメリカの家庭についても知ることができます。

インターナショナル・スチューデントズ・クラブでは、州内の百万都市インディアナポリスまでの一泊二日のバス旅行をしてくれます。40人以上の学生が1台のバスに乗り、インディアナポリスまで行き、ダウンタウンにあるドームスタジアムで大学フットボールを観戦したり、大きなショッピングモールでの買い物を楽しめます。費用は学生団体割引で格安です。

感謝祭の休日には、シカゴまで三泊四日のバス旅行があり、高層ビルに上ったり、高層ビルの谷間のブランド店でショッピングしたり、アメリカの大都会を楽しむことができます。

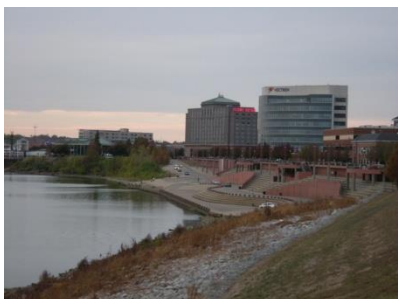
~~~~~  
大河オハイオ川の町  
~~~~~

大学のある町エバンズビルは人口が11万7千人で、インディアナ州では3番目に大きい市です。近隣の町を入れると都市圏は35万になり、州南部で最も大きな町です。

アパラチア山脈を源流とするオハイオ川は大河で、市のダウンタウンでは対岸が見えないほどです。この川沿いに、ピッツバーグやシンシナティのような大都市が発達しました。この川は隣のイリノイ州カイロでミシシッピー川に合流し、ミシシッピー川はメキシコ湾に注いでいます。

エバンズビルは1812年に築かれ、1847年に市として認可されました。

第二次大戦中はオハイオ川河岸で戦車上陸用の船が、現在のエバンズビル空港そばでは戦闘機が建造されたこともありました。



ダウンタウンのオハイオ川川沿いはリバーサイドとして整備され、夕暮れ時には川を眺めながら散歩したり、ジョギングを楽しむ人たちが行き交います。

川に面して、銀行やホテル、企業の近代的な高い建物が立ち並び、ビクトリーシアター

やザ・センターなどの劇場ではエバンズビル交響楽団の演奏やバレエを楽しむことができます。

ワシントンショッピングモールは州で最初の屋内ショッピングモールで、このモールのほかに、もう一つショッピングモールがあるなど、市内各所にスーパーマーケット、レストラン、多種多様の店があり、市民は安全な日常生活を楽しんでいます。

かけがえのない場所、補習校

留学生の皆さんは、大学で学ぶことを主たる目的として来て頂いていますが、週 48 日の補習校で教え始めると、土曜の補習校で子供たちに教えることが楽しみで待ち遠しいほどになります。

補習校は学校というイメージから、1 教室に数十人の生徒の教室を想像しがちですが、本校は全校で小学 1 年から高校生まで 55 人。先生の手数は 12 人。平均 1 教室 5 名と少人数クラスです。

先生方が自己紹介をした第一日目から先生方は、生徒の大人気になります。生徒は、先生方に教えて頂くのが楽しくてたまらなくなります。

小さな学校ですので、どの生徒も先生も互いによく知っていて、皆大きな家族の一員です。

昼食時間は先生も生徒も全員一緒に楽しく食事をします。生徒の弁当は、お母さんが週一回のために丹精こめたおいしそうな和食弁当です。

昼休み時間は大きい子どもが小さい子どもの面倒を見ながら一緒に、おにごっこやドッジボールをして過ごしています。冬には雪が降り、雪合戦です。

図書室には日本語の図書がたくさんあり、子どもたちは毎週図書を借りて家で読むことを楽しみにしています。百科事典や図鑑など、授業に役立つ資料も豊富です。

補習校には楽しい行事もたくさんあります。春は、全員で遠足に行きます。リンカーンが 7 歳から 21 歳まで過ごした農場や、鳥類図鑑で有名なオーデュボンにちなんだ州立公園、ロバート・オーエンがユートピアを築こうとした壮大な実験場ニューハーモニーが近くにあり、出かけます。



秋には、運動会があり、生徒、教員、保護者が、綱引き、玉入れ、リレーなどをともに楽しみ、アメリカにいることを忘れてしまいます。

冬には学習発表会があり、生徒は劇や、調べたことを発表し、1 年の最後の授業日を皆で楽しみます。正月には、どの生徒も書初めを楽しみ、できた作品は廊下に展示します。

子どもたちは月曜から金曜までアメリカの学校で英語で勉強をしていますが、土曜日には週 1 回の補習校を楽しみに、元気に保護者の皆さんの自家用車で通学しています。片道 1 時間半とか 2 時間以上かけて、スクールバスに揺られながら、近隣のケンタッキー州やイリノイ州からして通学している子どもも少なくありません。

子どもたちが補習校に通学するのは、ただ楽しいからではありません。

これらの子どもたちは数年間のアメリカ滞在を終えると、帰国します。

補習校は、これらの子どもたちが帰国しても、日本の学校で遅れることなく、十分についていくことのできる基礎学力をつけてあげる場です。

幸いにも、本校は少人数ですので生徒により多く触れ合うことができ、よりよく知ることができます。子どもの力に応じた指導をし易く、私たちはそれぞれの子供の持っている力を伸ばしてあげることができるように努力しています。

勉強熱心な子が多く、さまざまな意見や考えが教室を飛び交います。子どもたちの色んな考えを知り、疑問を一緒に考え、教えることができます。子どもたちの勉強への興味がますます高まるように、私たちは工夫しています。

新しいことをわかりやすく教えることができるように、わかりやすい授業を心がけて教えています。

補習校は、教師も生徒も熱情を持って教え、学び、一日一日を楽しく、充実して送ることができる場です。



プログラム参加者の声

私にとって補習校での授業は癒されるひと時です。もともと子供たちや教育に関心がありましたのでこのプログラムに応募しましたが、教育現場とアメリカ生活を一度に体験することが出来て幸せです。アメリカの現地校に長く通っている生徒はアメリカナイズされていて自由な感じですし、日本から来たばかりの生徒は日本のきちんとしたスタイルで授業を受けています。私のルームメイトはアメリカ人です。生活と補習校の両方でアメリカと日本の違いを体験しています！（Aさん）

補習校で働きながら、大学に通え、学費が免除されますし、ESLIへの入学制度があるので語学力が足りなくても、現地で補えることが魅力です。（Bさん）

